



古川親水公園

親水公園・親水緑道

水と緑のネットワーク

江戸川区は三方を川と海に囲まれ、内部にも中小河川の流れる水辺環境豊かな都市です。区ではその豊かな水を活かし「快適でやすらぎのあるみどりと水辺のまち」の実現に向けて様々な取り組みを行っています。そのひとつとして、身近な自然とのふれあい空間を区内全域に広げる、水と緑のネットワーク化を推進しています。

これまで江戸川区は全国に先駆けて“水に親しむ”という概念を導入し、人々の心にやすらぎと潤いを与えてくれる、緑豊かな親水施設の整備を進めてきました。これらの整備により、川に清流が蘇り、散策や水遊びなど四季の彩りを楽しみながら様々なかたちで区民の方々に親しまれています。



東京湾より江戸川区を望む

親水化事業の流れ

水や緑は自然の象徴といえます。私たちは、自然に触れることで潤いややすらぎを感じます。また、街の中を流れる小川で子どもたちが水遊びをする様子や魚を追いかける姿は、かけがえのない財産です。これらの親水施設が、地域の方々のコミュニティの場となるよう整備を進めてきました。



かつては農業用水や水上交通路として活躍

江戸川区には、かつて420kmにも及ぶ水路や中小河川があり、農業用水や水上交通路の役割を担っていました。

子どもたちは魚捕りや水遊びに興じ、人々は水と深い関わりを持った生活を営んでいました。



都市化の波による環境の悪化

急速な都市化の進展により、昭和40年頃にはこれらの水路や中小河川は、生活排水の流れるドブ川と化し、環境悪化の一途をたどっていました。

やがて下水道の整備が進み、従来の治水や利水機能の役割を終えました。これらの水路の将来計画として、昭和47年に「江戸川区内河川整備計画（親水計画）」が策定されました。



親水計画の第1号完成は昭和49年

親水計画第1号として完成した古川親水公園は、私たちに水辺の楽しさを思い出させてくれました。

現在では、地元で「愛する会」が生まれ、清掃活動を行うなど、この豊かな水辺環境をわがまちの誇りとしています。



水辺の生物と共生できる環境を

より子どもたちが自然に近い状態で楽しめるように、河川から自然水を取りし、生き物も生息できるように自然石の石積護岸を整備することで、水辺の生物にもやさしい環境を創出しました。

自然観察会が実施され、子どもたちの楽しい遊び場所となっています。

水と緑のネットワーク 親水計画

昔から水と深い関わりのあった江戸川区は、下水道の普及によって役目を終えた水路に失われた自然を取り戻し、水に親しめる“いこいの場”をつくる計画を進めてきました。



親水公園 【5路線 9,610m (100%完成)】

親水公園は、比較的川幅のある水路を広域的な水辺の空間として整備した施設です。水遊びができるじゃぶじゃぶ池や遊具、健康器具を設置するなど公園的なものとしています。

また、生態系に配慮し、生き物の生息しやすい環境づくりも行っています。



親水緑道 【18路線 17,680m (100%完成)】

親水緑道は、親水公園に比べ規模の小さなもので、生活道路のかたわらに幅1mほどの小川が流れる歩行空間です。魚の泳ぐ姿を楽しみながら、緑陰を散策することができる“みち”です。

親水公園は公園、親水緑道は道路という区分で整備・管理しています。

親水河川

1級河川である旧中川や新川の周辺は地盤が低いため、水門や閘門を整備し、人工的に河川の水位を下げて、浸水に対しての安全性を高めています。高い堤防で遮られることのない身近な河川として人々の生活に潤いをもたらし、散策やレクリエーションの場として活用されています。

※親水河川 【2路線8,500m】平成30年度末 2路線8,200m(96%完成)



旧中川

大正13年の荒川放水路(荒川)開削により中川が分断され、荒川放水路の西側が旧中川と呼ばれることとなりました。現在は区内延長の95%が水辺の散策路として完成し、自然とふれあえる潤いのある空間として地域の方々に親しまれています。



新川

新川は旧江戸川と中川を結び、かつては「塩の道」として、親しまれてきた歴史のある川です。新川千本桜をはじめとした江戸情緒のある環境整備により江戸川区の新しい名所となっています。また、全国初の河川地下空間を利用した「新川地下駐車場」が整備されています。

人と自然の調和がとれた 環境づくりのひとつです。



② 小松川境川親水公園

小松川境川は、その昔、東小松川村と西小松川村の村境を流れ、かつては農業用水や舟運の航路として、重要な役割を果たしてきました。古川親水公園に続き、2番目の親水公園として、清流を復活させました。



⑤ 一之江境川親水公園

この名は、かつて東一之江と西一之江の境を流れていたことに由来します。新中川が開削されるまでは、水元小合溜を水源としていました。野の川を目指し、生き物の生息しやすい環境をつくっています。



⑧ 葛西親水四季の道

江戸川と中川を結ぶ水上交通路として栄えた「長島川」が水と緑と彫刻のある“四季の道”に生まれ変わりました。行き交う人々が、魚の泳ぐ水の流れや四季折々の緑に触れ、緑陰の散策を楽しむことが出来るよう整備しました。



① 古川親水公園

親水公園の第1号となった古川は、その昔、行徳の塩を江戸に運んでいた由緒ある水路で、寛永6年(1629)に現在の三角以東に直線の水路が開削されたことにより、旧水路は古川と呼ばれるようになりました。全国で初めて「親水」という新しい概念で、緑と清流の河川を復活させ、全日本建設技術協会賞を受賞しました。



④ 新左近川親水公園

左近川と長島川の放流口として造られました。「水とのふれあいの場」をテーマに水辺と緑地が整備され、カヌーやデイキャンプ場でのバーベキューなどが楽しめる場所となっています。



⑬ 左近川親水緑道

既存水路のゆとりある川幅を生かした整備を行い、釣りも楽しめる空間となっています。また、隣接する新田コミュニティ会館の前庭として、くつろぎと憩いの場となっています。

親水公園・親水緑道路線図





⑥ 下小岩親水緑道

住宅地の軒先を流れていた水路を親水緑道第1号として整備しました。狭い空間を活用し、地域の生活に密着した施設に、子どもをモチーフにした彫刻を設置し、楽しい散歩道となっています。



⑪ 上小岩親水緑道

小岩地域の中央を流れていた北小岩川の下水道整備に合わせて親水緑道としました。このあたりでは、弥生時代後期から古墳時代にかけての史跡が見つかっており、歴史をテーマに整備しました。



⑬ 鹿骨親水緑道

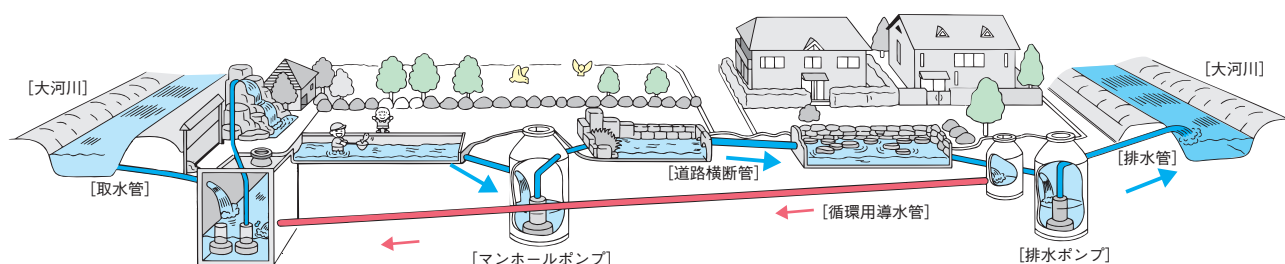
鹿骨親水緑道は、区の北東部を流る、かつての農業用水路（江戸川用水）の一部を整備しました。鹿骨の地名に由来した「親子鹿のブロンズ像」もあり、水辺の遊歩道は地域の方々に親まれています。



⑯ 篠田堀親水緑道

植物や昆虫・魚などが棲みやすい環境づくりをしました。また、下流部では既存の桜並木を生かした整備を行いました。毎年、お花見の時期には多くの人で賑わっています。

水の流れのシステム



親水公園・親水緑道では、江戸川、旧江戸川、新中川などの自然水を取水管により引き入れています。そして地盤が平坦なため、川の水深が深くなると、その水をポンプアップしながら水路に流し、最終的には流末の大河川に直接排水します。

また、流末に大河川がない場合は、水路下に敷設した導水管を使用し、水を循環させます。このように、水の流れのシステムは2つに分類できます。

水 質

親水公園・親水緑道では河川の水をそのまま流しています。そのため、雨が降ると水が濁ったり、藻が発生したりしますが、自然の生態系に適しています。

親水整備計画

	番号	親水公園名	流水方式	延 長 (m)	流 量 (m³/s)	施工年度 数字は施工延長 (m)													
						62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
親 水 公 園	1	古川親水公園	自然流下 一部循環	1,200	0.125	(昭和47～48年度)													
	2	小松川境川親水公園	自然流下	3,930	0.25	(昭和56～59年度)				860									
	3	新長島川親水公園	自然流下 一部循環	530	0.04			530											
	4	新左近川親水公園	—	750	—					750									
	5	一之江境川親水公園	自然流下 一部循環	3,200	0.04						3,200								
5 路 線				9,610		完成延長 9,610m (整備率 100%)													

	番号	親水緑道名	流水方式	延長 (m)	流量 (m³/s)	施工年度 数字は施工延長 (m)																					
						62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
親 水 緑 道	6	下小岩親水緑道	循環	950	0.02	820		130																			
	7	親水さくらかいどう	循環	500	0.02	500																					
	8	葛西親水四季の道	自然流下	2,100	0.04	2,100																					
	9	西小岩親水緑道	循環	420	0.03	420																					
	10	鹿本親水緑道	循環	750	0.04	750																					
	11	上小岩親水緑道	循環	950	0.05	950																					
	12	興農親水緑道	自然流下	820	0.07	820																					
	13	新左近川親水緑道	—	650	—	650																					
	14	流堀親水はなのみち	循環	420	0.05	420																					
	15	仲井堀親水緑道	循環	580	0.02	580																					
	16	篠田堀親水緑道	自然流下	1,600	0.15	1,600																					
	17	鎌田川親水緑道	循環	500	0.04	500																					
	18	鹿骨親水緑道	自然流下	1,290	0.04	1,130		160																			
	19	左近川親水緑道	自然流下	2,000	0.25	2,000																					
	20	本郷用水親水緑道	自然流下	1,580	0.04	1,180		400																			
	21	椿親水緑道	循環	170	0.05	170																					
	22	東井堀親水緑道	自然流下	1,800	0.04	860		440		500																	
	23	宿川親水緑道	循環	600	0.10	600																					
	18 路 線				17,680		完成延長 17,680m (整備率 100%)																				

[全体計画] 23路線 27,290m [完成路線] 23路線 27,290m (整備率100%)

	番号	親水河川名	流水方式	延長 (m)	流 量 (m³/s)	施工年度 数字は施工延長 (m)															
						5～17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31～	
親水河川	24	旧中川	—	5,500	—	5,500															
	25	新川	—	3,000	—	3,000															
2 路 線				8,500		完成延長 8,200m (整備率 96%)															



令和元年9月

江戸川区

土木部水とみどりの課

〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 TEL.03-3652-1151(代表)